様式第二十一号を次のように改める。

様式第二十一号（第二十九条関係）

金品給貸与簿

年月日	種別	氏名 生年月日	金員			物品			
			給与額	貸与額	返還額	品目	給与数	貸与数	返還数
	（　　）	年　月　日生							

（備考）

１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　「種別」の欄には、次のとおり種別の番号を記載すること。

(1)保護観察処分少年　(2)少年院仮退院者　(3)仮釈放者　(4)保護観察付執行猶予者

(5)刑執行停止中の者

㈠刑執行終了　㈡刑執行免除　㈢保護観察付執行猶予確定前　㈣単純執行猶予

㈤起訴猶予・処分保留　㈥罰金・科料　㈦労役場

㈧退院・仮退院期間満了　㈨実刑部分執行終了（※）

㈠保護観察終了　㈡法定期間満了

（※）「㈨実刑部分執行終了」は、拘禁刑につき刑の一部の執行猶予の言渡しを受け、その猶予の期間中保護観察に付されなかった場合であって、その刑のうち執行が猶予されなかった部分の執行を終わったとき（その執行終了時に他に執行すべき拘禁刑があり、その刑の執行を終わったときを含む。）をいう。

３　貸与した金員又は物品の返還があったときは、その日付及び金額又は数量を当該貸与した日の「返還額」又は「返還数」の欄に記載すること。